

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 5 日 (2015.3.5)

【公表番号】特表 2014-517907 (P2014-517907A)

【公表日】平成 26 年 7 月 24 日 (2014.7.24)

【年通号数】公開・登録公報 2014-039

【出願番号】特願 2013-550983 (P2013-550983)

【国際特許分類】

G 0 1 B 11/00 (2006.01)

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 11/00 A

A 6 1 B 19/00 5 0 2

A 6 1 B 1/00 3 2 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 9 日 (2015.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学形状検出システムであって、

光学ファイバと、

少なくとも 1 つの参照マーカとを有し、

各参照マーカが、参照座標系における特定可能な参照追跡位置及び特定可能な参照追跡方向の少なくとも 1 つを持ち、

前記光学ファイバは、前記参照座標系における前記光学ファイバの形状再構成の実行に関する基礎として機能する、前記参照座標系における再構成開始ポイントを持ち、

前記光学ファイバの前記再構成開始ポイントが、前記参照座標系における前記再構成開始ポイントの特定を容易にするため、各参照マーカと既知の空間関係を持つ、光学形状検出システム。

【請求項 2】

前記参照座標系を確立する電磁気参照追跡システムを更に有し、各参照マーカが、電磁気参照マーカである、請求項 1 の光学形状検出システム。

【請求項 3】

前記参照座標系を確立する光学追跡システムを更に有し、各参照マーカが、光学参照マーカである、請求項 1 の光学形状検出システム。

【請求項 4】

前記参照座標系を確立する撮像追跡システムを更に有し、各参照マーカが、撮像追跡システムにより生成される画像において特定可能である、請求項 1 の光学形状検出システム。

【請求項 5】

前記再構成開始ポイントが、前記参照座標系における各参照追跡位置から間隔を置いて配置される、請求項 1 の光学形状検出システム。

【請求項 6】

前記再構成開始ポイントが、前記参照座標系における前記少なくとも１つの参照追跡位置の少なくとも１つと一致する、請求項１の光学形状検出システム。

【請求項 ７】

細長いデバイスを更に有し、

前記光学ファイバが、前記細長いデバイスに埋め込まれ、前記少なくとも１つの参照マーカは、前記細長いデバイスから間隔を置いて配置される、請求項１の光学形状検出システム。

【請求項 ８】

細長いデバイスを更に有し、

前記光学ファイバ及び前記少なくとも１つの参照マーカが、前記細長いデバイスに埋め込まれる、請求項１の光学形状検出システム。

【請求項 ９】

各参照追跡位置が、前記参照座標系において固定される、請求項１の光学形状検出システム。

【請求項 １０】

各参照追跡位置が、前記参照座標系において移動可能である、請求項１の光学形状検出システム。

【請求項 １１】

前記再構成開始ポイントが、前記参照座標系において固定される、請求項１の光学形状検出システム。

【請求項 １２】

前記再構成開始ポイントが、前記参照座標系において移動可能である、請求項１の光学形状検出システム。

【請求項 １３】

前記再構成開始ポイントが、前記光学ファイバの全体の形状再構成に関する基礎として機能する、請求項１の光学形状検出システム。

【請求項 １４】

前記再構成開始ポイントが、前記光学ファイバのセグメントの形状再構成に関する基礎として機能する、請求項１の光学形状検出システム。

【請求項 １５】

前記光学ファイバが、前記参照座標系における複数の再構成開始ポイントを持ち、

各再構成開始ポイントは、前記参照座標系における前記光学ファイバの形状再構成の実行に関する基礎として機能するよう動作可能であり、

前記光学ファイバの各再構成開始ポイントが、前記参照座標系における前記再構成開始ポイントの特定を容易にするため、各参照マーカと既知の空間関係を持つ、請求項１の光学形状検出システム。